

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 6 月 21 日現在

機関番号：12603

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2013～2016

課題番号：25770253

研究課題名(和文) 太平天国とキリスト教の関わりからみる中国初期プロテスタント史の研究

研究課題名(英文) A study about early history of Chinese Protestant from the view of the relationship between the Taiping movement and the Christianity

研究代表者

倉田 明子 (Kurata, Akiko)

東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・講師

研究者番号：20636211

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,600,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、太平天国と深い関わりを持ったロバーツとギュツラフという2人の宣教師に関する一次資料を調査、収集し、中国キリスト教史、および太平天国史研究においてこれまで解明されてこなかった事象に新たな光を当てることを目的とするものであった。史料調査としては、本研究期間内に、アメリカ・テネシー州の南部バプテスト連盟本部、ロサンゼルス州のバイオラ大学、ドイツ・ベルリンの州文書館、香港の香港大学およびバプテスト大学等でロバーツ、ギュツラフ両宣教師や中国プロテスタント史に関わる新たな史料を閲覧、収集した。また、これらの史料の分析もすずめ、中国、日本でのシンポジウム等で発表したほか、論文としてまとめ、公刊した。

研究成果の概要(英文)：Main purposes of this study were; to search and collect primary materials about Rev. I. J. Roberts and Rev. K. Gutzlaff, who had close relations with Taiping movement, and to reexamine some phenomena in history of Taiping movement or of Christianity in China those have not been elucidated yet. During the period of this project, I visited the Southern Baptist Historical Library and Archives (Nashville, TN), Biola University (LA), Evangelisches Landesirchliches Archiv in Berlin, the University of Hong Kong and the Baptist University of Hong Kong, and made research on the materials about above two missionaries and the history of Protestant in China. Then I analyzed these documents and made presentations in symposiums held in China and Japan, I also wrote papers and published them.

研究分野：中国近代史

キーワード：中国近代史 キリスト教 プロテスタント 太平天国 漢会

### 1. 研究開始当初の背景

中国の「近代史」は、中華世界が、近代化を遂げつつあった西洋世界と直接対峙し、交流を深めていった時代であり、その過程ではプロテスタント宣教師が、宗教のみならず、西洋の学問や制度、思想の伝播にも深く関わった。しかし、従来の中国プロテスタント史研究においては、19世紀末以降の反キリスト教運動やキリスト教の中国での「土着化」への関心は高いものの、そこに至る過程(19世紀前中期)を対象とした研究は非常に少なく、この時期のプロテスタント史を再検討する必要があった。

また、中国初期プロテスタント史を考える場合、太平天国はプロテスタント・キリスト教から直接影響を受けた運動として極めて重要であるが、キリスト教側の文脈から初期太平天国運動への影響を検討する研究は不足していた。特に太平天国との深い関係がありながら、その実態が解明しきれていないのがロバーツとギュツラフという2人の宣教師であり、一次史料に基づいた研究が必要であった。

### 2. 研究の目的

以上のような背景を踏まえ、本研究は、中国キリスト教史研究における太平天国運動へのアプローチの少なさ、太平天国史研究におけるキリスト教史料へのアクセスの不十分さ、という双方の従来の問題点を克服し、特にミッション史料の活用を通して、中国キリスト教史研究の新たな可能性を探るとともに、太平天国史研究においてもこれまで解明されてこなかった初期のキリスト教との関係性という問題に新たな光を当てることを目的とした。

具体的には、ロバーツと洪秀全、太平天国との関わりの解明、洪秀全の「上帝会」とギュツラフの布教団体「福漢会」との関わりの解明を目標とした。

### 3. 研究の方法

ロバーツと洪秀全の関わりの解明については、まず、ロバーツ関連史料についての現地調査を行い、全面的な収集、整理および分析を進めることとした。その上で、ロバーツが当時のプロテスタント布教において果たした役割、および洪秀全や後期太平天国との関わりの実態について明らかにしておくこととした。

次に、洪秀全の「上帝会」とギュツラフの布教団体「福漢会」との関わりの解明については、まず欧州各地でギュツラフ関連史料について現地調査を行い、全面的な収集、整理および分析を進めることを最初の課題とした。その上で、ギュツラフと福漢会の活動の実態を明らかにし、さらに福漢会の広西における活動と上帝会との関わりについても検討を加えること、また、福漢会の礼拝や祈祷の様式が太平天国に影響を与えている可能

性があることから、福漢会によって配布された冊子や文書についても調査を行うこととした。

### 4. 研究成果

(1) 海外資料調査：初年度はアメリカ・テネシー州の Southern Baptist Historical Library and Archives を訪問し、ロバーツが残した報告書や書簡などの資料を閲覧、デジタルカメラで撮影したほか、同ミッションから中国に派遣されたイエーツ、ハートウェル、クロフォードら他の宣教師の諸資料についても閲覧と撮影を行った。これらの史料は従来の研究ではほとんど顧みられておらず、19世紀の中国ミッション史を知る上で重要なものとなる可能性が高い。またロバーツの報告書の中には中国人助手の活動を克明に記録したものが残されていることも判明した。

第2年目には香港大学の香港コレクションにおいてロンドン伝道会やアメリカン・ボードの宣教師の史料のマイクロフィルムを閲覧し、19世紀の香港、上海等の開港地におけるプロテスタント・ミッション史に関わる史料を収集した。

第3年目には、アメリカの在中国ミッション史の補足史料としてロサンゼルスのパイオラ大学等で湖南聖經学院関連史料などの、宣教師による教育・布教活動に関わる史料を閲覧、収集した。また香港大学でも19-20世紀の香港および上海、また東南アジアのイギリス植民地におけるプロテスタント教会に関わる史料を調査、収集した。

最終年度には、ロンドンの英国図書館で1830年代から1840年代にかけて中国で活動した宣教師に関する雑誌などを閲覧し、またドイツ・ベルリンの Evangelisches Landeslirchliches Archiv in Berlin において、ギュツラフの活動を支援したベルリン伝道会の史料を調査し、同伝道会の中国における活動に関する報告書などを閲覧、収集した。また、香港大学図書館および香港バプテスト大学図書館においてロンドン伝道会に所属する中国および東南アジア在住の宣教師の報告書を閲覧し、ギュツラフが活動したアヘン戦争の前後の時期の中国・東南アジアのプロテスタント史について関連資料の補充をすすめた。

これらの海外調査に加えて、分担者として加わった別の科研プロジェクトで行ったヨーロッパ(オランダ、イギリスおよび香港)でのギュツラフ関連資料についての調査の成果も合わせると、本研究で当初予定していたロバーツ・ギュツラフ関連および周辺史料の収集はきわめて順調に進めることができた。

(2) 研究成果の公表：初年度には、宣教師と開港場知識人が中国への西洋知識の伝播の面で中国の近代化に果たした役割を論じた論文「通商口岸知識分子と基督教 19世

紀西方知識与現代性」を執筆し、香港で開かれた第八回近代中国基督教史研討会「近代中国基督教与現代性 比較視覚」上で発表した。また、アメリカで収集した南部バプテスト連盟の史料の一部を用い、1840年代の上海における開港から通商都市としての発展の過程を宣教師の活動記録を通して明らかにする方法を提示し、その可能性を論じた論文「中西交匯中的上海 通商口岸城市的成立与伝教士」を執筆し、10月に中国・杭州で開催された「中西交匯中的近代中国都市与鄉村国際学術研討会」において発表した。またこれらのシンポジウムに参加した中国、台湾の中国近代史、キリスト教史研究者と意見交換を行った。

第2年目には、史料の分析と平行して、博士論文を大幅に改訂した自著の出版準備を進め、アメリカでの史料収集の成果も一定程度反映させつつ、19世紀初頭から中期にかけての中国の開港場における西洋知識の伝播とキリスト教との関わり、また太平天国とこれらの西洋知識の伝播との関係性などを論じた『中国近代開港場とキリスト教』を上梓した。

第3年目はちょうど戦後70周年(2015年)であったこともあり、日中戦争や香港における日本占領期などに関わる中国や香港で開催されたシンポジウム(「外籍友人与抗日戦争」国際シンポジウム、および2015戦争与和平国際学術研討会)に参加する機会があった。ここで日中戦争期の杭州や香港占領期に関わる発表を行う一方、そうした場での海外の研究者との交流を通して、19世紀のキリスト教史に関する情報交換、意見交換も行うことができた。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計2件)

倉田明子、十九世紀前中期のキリスト教伝道と中国の近代化、キリスト教文化、査読なし、春号、2015、16-28

倉田明子、漢会とロバーツ、キリスト教史学、査読なし(招待論文)、70巻、2016、33-52

〔学会発表〕(計6件)

倉田明子、通商口岸知識分子与基督教 19世紀西方知識与現代性、第八回近代中国基督教史研討会「近代中国基督教与現代性 比較視覚」、香港浸会大学(香港)、2013年06月14日~2013年06月15日

倉田明子、中西交匯中的上海 通商口岸城市的成立与伝教士、中西交匯中的近代中国都市与鄉村国際学術研討会、華北飯店(杭州・中国)、2013年10月12日~2013年10月14日

倉田明子、通商口岸对太平天国評價の変遷、太平天国失敗150周年学術研討会、天益賓館

(上海・中国)、2014年11月15日~2014年11月16日

倉田明子、近代中国の開港場における知識人のキリスト教受容、キリスト教史学会東日本部会、明治学院大学、2014年12月13日

倉田明子、中日戦争時期日本書刊中的杭州戦時杭州関連書刊在日所蔵情况簡介、「外籍友人与抗日戦争」国際シンポジウム、香園飯店(杭州・中国)、2015年09月06日

倉田明子、日占時期的香港天主教之救済活動、2015戦争与和平国際学術研討会-宗教視角、建道神学院・香港、2015年10月30日~2015年10月31日

〔図書〕(計6件)

倉田明子、他、中国社会科学出版社、政治精英与近代中国、2013、39-49

倉田明子、他、有志舎、文明と伝統社会 19世紀中葉~日清戦争(講座東アジアの知識人、第1巻)、2013、154-169

倉田明子、東京大学出版会、中国近代開港場とキリスト教: 洪仁カンがみた「洋」社会、2014、372

倉田明子、他、建道神学院、変局下の西潮; 基督教与中国現代性、2015、43-61

倉田明子、他、社会科学文献出版社、中西交匯中的近代中国都市和鄉村、2015、279-285

倉田明子、他、かんよう出版、はじめての中国キリスト教史、2016、62-89

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

名称:  
発明者:  
権利者:  
種類:  
番号:  
出願年月日:  
国内外の別:

取得状況(計0件)

名称:  
発明者:  
権利者:  
種類:  
番号:  
取得年月日:  
国内外の別:

〔その他〕

ホームページ等

#### 6. 研究組織

(1)研究代表者

倉田 明子(KURATA, Akiko)

東京外国語大学・総合国際学研究院・講師  
研究者番号: 20636211

(2)研究分担者 ( )

研究者番号：

(3)連携研究者 ( )

研究者番号：

(4)研究協力者 ( )